



いつもご支援いただきありがとうございます。

2020年度理事会・総会を6月27日に開催し2019年度の活動報告・決算報告・2020年度の活動計画・予算などが承認されました。  
(2020年度活動計画は4面参照)

2020年4月10日の緊急事態宣言の発令による春からの活動自粛に伴い、以下の活動は中止または延期となりました。

しかし、普段と違う生活になった中でも、多くの方々から小児がん基金へのご寄付をいただいております。ありがたく、うれしい日々です。

- ① 3月中旬に、ベトナム・フエ中央病院小児センターの医師2人、技師1人が名大病院で造血幹細胞移植の研修をする予定でしたが、中止となりました。  
名大病院小児科の医師たちからメールでの指導を受け、昨年からの造血幹細胞移植が始まりましたが、直接技術研修を受けることを希望しております。



- ② 6月初めに韓国で開催予定でした小児がん経験者の若い世代の日韓交流事業は延期となりました。  
参加予定の名大病院を中心とした小児がん経験者たちの若者グループ「クロワッサンス」の活動については、3面に掲載しました。

- ③ 7月26日に4周年記念イベントを計画しておりましたが、中止させていただきました。

名古屋キワニスクラブ様から助成金をいただき、ベトナム・フエ中央病院小児センターに、白血病遺伝子検査キット購入費用を支援することができました。

キットを手にしたベトナム医師たち



患者さんご家族の負担がなく治療が受けられるよう、名古屋大学病院小児科での次世代シーケンサーを使ったゲノム解析への助成も昨年に引き続きしております。

.....

イラクの白血病の子ども達を支援し、イラク人医師の研修支援をしている「セイブ・イラクチルドレン・名古屋」の16号ニュースレターに、当基金理事長が寄稿しましたら、多くの支援者の方々から当基金にも寄付金が振り込まれました。

日本の医師や支援者の「子どもを救うのに、国籍は関係ない」という熱い想いが、復興が始まったばかりで困難な状況下のイラク人医師に希望を与えていることを改めて感じています。



古川朋美様から小児科病棟に入院中のがんと闘う子ども達へ、応援メッセージとともに、1000枚のマスクをいただきました。

mon cheri de soleils様が、みまーも様、梨れんつ会様、東海手芸部様と協働して、手作りマスク、布マスク、不織布マスクを小児科病棟にご寄付くださりました。



イオンタウン千種での「幸せの黄色いレシートキャンペーン」に3月から登録しました。毎月11日にお客様が買物したレシートをボックスに入れていただくと、その1%が商品券で寄付されます。

## 新型コロナ肺炎を死なない病気に

名古屋小児がん基金理事長 小島勢二

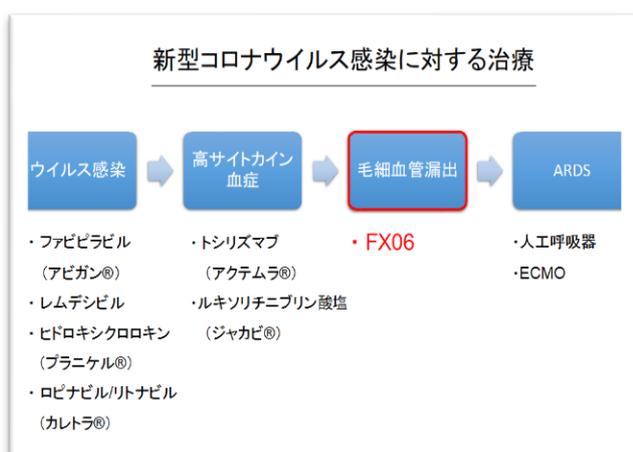
全国に出されていた緊急事態宣言が全面解除となり、外出や営業自粛も緩和されつつある。しかし、東京都における新型コロナウイルスの感染状況からは、秋から冬にかけて襲来が予想される第2波への備えを怠ることはできない。

私は、この30年間、造血幹細胞移植に合併する重症ウイルス性肺炎の治療に難渋してきたが、この経験がコロナ肺炎の治療に有用ではないかと思っている。

新型コロナ肺炎においては、肺胞間質に浸潤したリンパ球やマクロファージから産生された炎症性サイトカインが局所的に高濃度となり、肺毛細血管の内皮細胞が傷害されて血管透過性が増すことで、肺胞内に滲出液が漏出し肺浮腫を引き起こす。その結果、肺胞と毛細血管とのガス交換ができなくなり、呼吸ができなくなると考えられる。移植に合併する重症ウイルス肺炎にも同じことが見られる。

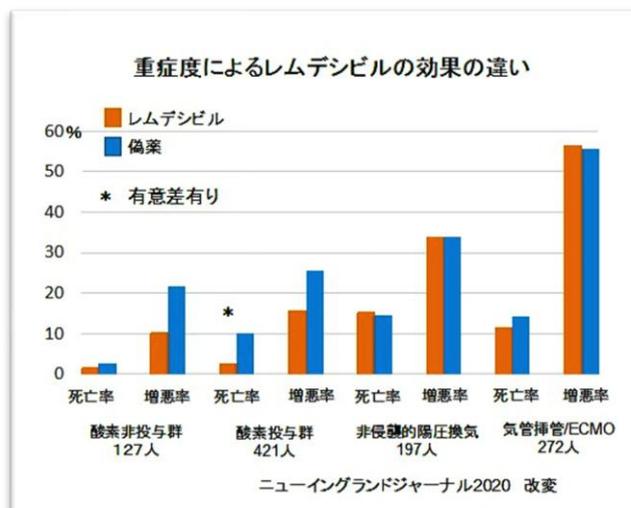
新型コロナウイルス肺炎の病態から、治療のターゲットは、

- 1) ウイルス感染、
- 2) 高サイトカイン血症、
- 3) 毛細血管漏出に対する治療である。



米国ギリアド・サイエンシズ社が開発したレムデシビルは、新型コロナウイルスに対する最初の治療薬として5月7日に日本で承認された。申請から承認までに要した日数はわずか3日であった。

治療対象となるのは、気管内挿管などの侵襲的人工呼吸管理や体外式膜型人工肺 (ECMO) による治療が必要な重篤例に限定された。



今回の承認のもととなった国際共同治験の結果がニューイングランドジャーナル誌に報告された。重要なことは、病気の重症度によってレムデシビルの治療効果に違いがあることである。1017人を、重症度に応じて、1) 酸素投与を必要としない群、2) 少量の酸素投与を必要とする群、3) 酸素マスクなどを使った陽圧換気が必要とする (非侵襲的陽圧換気) 群、4) 気管内挿管による人工呼吸や ECMO を必要とする (侵襲的陽圧換気) 群にグループ分けをして治療効果が検討された。

上の図で一目瞭然であるが、侵襲的、非侵襲的を問わず陽圧換気が必要とする重症患者では、死亡率、増悪率から見ても、全く効果が見られない。より軽症な群において、レムデシビルの投与は、重症化を抑える傾向が見られる。わが国では、レムデシビルの治療対象となるのは、気管内挿管など侵襲的人工呼吸管理や ECMO による治療が必要な重症患者に限定されたが、このグループにレムデシビルを投与しても効果は期待できない。

アビガンについては、全国 407 カ所の医療機関から 2158 人が参加した観察研究の結果が報告された。重症度の内訳は、酸素吸入が不要の軽症患者が 976 人 (45%)、酸素吸入が必要な中等症患者が 947 人 (44%)、人工呼吸管理などが必要な重症患者が 235 人 (11%) である。治療効果については、主治医の主観で、改善、不変、増悪の3段階で評価された。

データのそろった 1282 人についての解析では、アピガンを投与開始 14 日後に改善とされたのは、軽症患者が 88%、中等症患者が 85%、重症患者が 60%であった。なお、一ヶ月後には、重症患者の 32%が死亡した。惜しむらくは、コントロール群を設けた比較研究ではないので、有効性の評価ができないことである。とりわけ、効果判定が主治医の主観によるのは、客観性が問題視されるかもしれない。安倍首相は、アピガンの早期承認を目指していたが、5月中の承認は断念したようである。薬事承認を得るには有効性を示さなければならないが、それには主要評価項目の選択が鍵となる。とりわけ、今回のように病態や臨床経過がまだよくわかっていない時点で、コントロール群と有意差が出るような試験デザインを設計するのは困難を伴う。

抗ウイルス薬のみでは効果が限定的であることから研究の焦点は併用薬の開発に向けられている。新型コロナ肺炎の重症化には炎症性サイトカインの過剰産生が関与する。代表的な炎症性サイトカインには、腫瘍壊死因子やインターロイキン 6 などがあるが、それぞれのサイトカインの機能を抑える治療薬が既に市販されている。

アクテムラはインターロイキン 6 の阻害薬であるが、国内や中国の施設で重症患者に投与され著効したとの報告も見られる。米国国立衛生研究所は、この5月からレムデシビルにバリシチニブ（商品名：オルミエント）を加える国際共同試験を開始した。オルミエントはヤヌスキナーゼ（JAK）阻害剤で、JAK の働きを抑えることで、インターロイキン 6 をはじめ複数の炎症性サイトカインの産生を抑えることができる。

FX06 はフィブリン由来の天然に存在するペプチドで、マウスにおけるウイルス感染モデルにおいて、肺や腸管における毛細管漏出の減少と生存率の向上をもたらした。実際、エボラ出血熱で人工呼吸管理を必要とした患者が本剤の投与により、毛細管漏出が改善し、救命できたことが報告されている。つい最近、ヨーロッパから、人工呼吸管理や ECMO による救命治療が必要であった 6 例の重症コロナ肺炎の患者に本剤を投与したところ、全例で肺機能の改善が得られ、うち 4 例は生存中と大変有望な結果が報告された。

新型コロナ肺炎の病態を考慮すると、ウイルス量の減少効果が証明された抗ウイルス薬の早期投与と高サイトカイン血症阻害薬や毛細管漏出治療

薬の併用が最も有望と考えられる。FX06 は病態の最終段階である毛細管漏出を阻害することから、より有望な選択かもしれない。

呼吸管理を必要とする重症患者も対象とはなるが、併用療法により、中等症例が呼吸管理を必要とする重症例へ移行するのを防止できれば、その意義は大きい。有効な治療法の開発によって、新型コロナ肺炎が死なない病気になれば、多くの問題点は解決する。

## クロワッサンスの仲間



代表 太田晃嗣

クロワッサンスは、名古屋大学病院に入院していた小児がん・血液疾患のサバイバーの会（18 歳以上）です。もともと同時期に入院していたサバイバーたちの同窓会のような集まりから始まり 2016 年 4 月に正式に患者会として活動を始めました。

年に 1 回の定例会、年に数回開催される食事でメンバーたちと交流をしています。進学や就職、友人、恋愛など AYA 世代特有の悩みをメンバーに相談や意見交換することでサバイバーでなければわからない貴重な情報を得る機会になっています。

現在、メンバーは 24 人まで増えています。2019 年 2 月には「AYA がんの医療と支援のあり方研究会」に参加し活動報告をしました。最近、他の地域の患者会との交流もしています。さらに、今年度は韓国の AYA 世代のがんサバイバーとの交流会が計画されていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止になってしまいました。今後は国内だけではなく国を超えたサバイバーたちとのつながりも構築していきたいと考えています。

さて、会の名前であるクロワッサンス

【Croissance】は、フランス語で成長という意味があります。今までもこれからも、自分の病気を受け入れ、仲間とともに成長し続けよう！という思いを込め、メンバーのみんなで決めました。サバイバーたちが力を合わせてより成長できるような会を目指します。

\*サバイバー：がんと診断されてから治療が終わった人治療中の人、あるいはその家族までを含めて、がんサバイバーと呼びます。

\*AYA 世代：Adolescents and Young Adults の略で、15 歳から 39 歳までの年齢層の人を指します。

# 2020 年度事業計画

## 1. 事業実施の目的

一般社団法人名古屋小児がん基金(NPCF)は、小児がん患者の治療成績や治療環境の向上を図ることにより、患者およびその家族の福利に資するとともに 広く小児がんの治療研究および診療の向上を図ることが目的である。この目的を達成するために関連する諸団体と連携して、下記の事業を計画実施する。

## 2. 実施事業

### 小児がん患者における新規診断法や治療法の開発

小児がん拠点病院および研究機関においての小児がん患者に対する次世代シーケンサーを用いた網羅的遺伝子研究や CAR-T 療法の開発、さらに遺伝子治療の開発を費用面からサポートする。  
また、最新医療事情を広く市民に伝える機会を作る。

### 患者・患者家族への経済的支援

保険適応がない薬剤の購入費用や海外での治療を希望する患者への治療費援助、海外渡航時患者付き添い医の渡航費の援助をする。

### アジアの発展途上国における小児がんに関わる医療従事者や患者への支援

アジアの発展途上国から要請される遺伝子解析に答え、次世代シーケンサーによる遺伝子解析をおこなう。新医療技術（遺伝子治療）の習得を希望して来日する研究者への援助をする。名古屋で開催する国際学会の開催費援助および、国際学会への日本からの参加者に、渡航費や滞在費の援助をする。また、医療従事者だけでなく、小児がん経験者の国際交流も支援する。

## 3. 基盤事業

- (1) 小児がん基金の財政基盤を確立し、愛知県内における名古屋小児がん基金の認知度を高めるために ニュースレターやチラシを作製し、関係者に送付する。
- (2) ホームページの充実を図り、最新の小児がんの治療法の動きなどを伝える。
- (3) 一般向けの医療講演会の開催をしたり、チャリティマラソン大会、イベント等での募金活動などに参加したりすることで、小児がん治療の現状を伝える。

### 一般社団法人 名古屋小児がん基金

460-0012 名古屋市千代田区 5-11-33 S T PLAZA TSURUMAI 本館 4 B  
TEL&FAX 052-263-6995  
E-mail info@npcf.or.jp  
HP <https://npcf.or.jp/>

